

令和 7 年度
宇治市総合計画審議会
第 1 回専門部会①
議事要旨

宇治市

宇治市総合計画審議会第1回専門部会① 議事要旨

<開催年月日>2025(令和7)年10月31日(金)9時～10時30分

<開催場所>産業会館1階多目的ホール

<出席者>

・委員

学識経験者

牧 紀男(部会長)

京都大学防災研究所社会防災研究部門 教授

関係団体役職員

中川 晴雄(副部会長)

宇治防犯協会 会長

吉村 安広

宇治市消防団 団長

市民公募委員

立畑 伊織 市民公募委員

出水 あゆみ 市民公募委員

吉元 恵美子 市民公募委員

計6名

・理事者

貝 康規

副市長

・公室長

松原 武司

技監

伊藤 樹

理事

・部長

遠坂 尚

危機管理監

秋元 尚

市長公室長

須原 隆之

政策企画部副部長

荻野 浩造	総務・市民協働部長
前田 貴徳	人権環境部長
星川 修	健康長寿部長
飯田 克夫	建設部長
米田 晃之	都市整備部長
蒲原 功	上下水道部長
木戸 英明	消防長

・総合計画審議会事務局

佐々木 卓也	政策企画部政策戦略課長
辻 親雄	政策企画部政策戦略副課長
服部 和夫	政策企画部政策戦略課係長
望月 聖太	政策企画部政策戦略課主任

計 17 名

< 審議会次第 >

1. 開会
2. 副部会長の選任について
3. 議事
 - ① 第 6 次総合計画第 2 期中期計画重点施策(案)について
 - ② 分野別素案について
4. 閉会

<会議内容>

1. 開会

【事務局】

それでは、定刻になりましたので、会議をはじめさせていただきます。本日は公私ともにご多用のところご出席いただきありがとうございます。

本日の専門部会①ではまちづくりの方向における「安全・安心に住み続けられるまち」「まちづくりの土台となる取組」を所管いただき、それぞれに紐づく分野について審議をお願いします。

開会に先立ち、欠席者についてご連絡します。

◇欠席者の説明(真山委員、小林委員、古澤委員 計3名)

宇治市の出席者は、専門部会の各部会に関連する部長が出席し審議を進めさせていただきます。みなさま、忌憚のないご意見をよろしくお願いします。

続きまして、事前送付資料及び当日配布資料の確認をさせていただきます。

事前送付資料は「会議次第」「資料1 第2期中期計画重点施策(案)について」「資料2 宇治市第6次総合計画第2期中期計画(素案)」「参考資料 宇治市第6次総合計画序論(素案)」です。また、本日、配布しております資料は「席次表」「宇治市総合計画審議会専門部会委員名簿」「宇治市出席者名簿」です。資料に不足はございませんでしょうか。

それでは、本日の議事をご案内します。本日は、次期中期計画における重点施策(案)及び分野別素案を提示し審議をお願いしたいと考えています。また、参考資料として添付しています序論(素案)は計画を冊子にする際に掲載する項目ですが、審議会で議論いただく内容ではないため、時間の都合上、説明は割愛します。

【部会長】

本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。ご指名をいただきましたため部会長として議事を進めさせていただきます。

まず、はじめに連絡事項をお伝えします。本日の会議に傍聴の申請がありましたため、承認しましたことをご連絡いたします。

それでは、専門部会を開催します。本日は専門部会1回目となるため、委員のみなさまには改めて自己紹介をお願いします。市の職員のみなさまの自己紹介もあわせてをお願いします。

《自己紹介》

2. 副部会長の選任について

【部会長】

宇治市総合計画審議会運営規則第2条の定めに従い、副部会長の選任をさせていただきます。

【委員】

地域防犯活動と安全なまちづくりに尽力されている中川委員を推薦したいと考えています。

◇一同了承

【部会長】

副部会長の選任が終わりましたため、審議を進めていきたいと思います。専門部会では活発な意見を期待して、出席者同士が向かい合う席としています。忌憚のないご意見ををお願いします。

3. 議事

① 第6次総合計画第2期中期計画重点施策(案)について

【事務局】

それでは、議事①第6次総合計画第2期中期計画重点施策(案)について事務局より説明をお願いします。

《資料①第2期中期計画重点施策(案)について》

【部会長】

資料の説明に対してご質問やご確認があればお願いします。なお、会議録を作成するため、発言の際はお名前のご発言をお願いします。

【委員】

重点施策2について、前回の意見が反映されており、子どもや高齢者だけでなく「誰もが尊重され」と明記されているためよいと思います。

【委員】

計画の反映の仕方が勉強になりました。内容について、よいと思います。

【委員】

内容は申し分ないと思います。各地域の課題を整理いただき、市民にとってもイメージがしやすい内容になっていると思います。

【副部長】

p.3の「犯罪や事故が起こりにくいまちづくり」の施策の一例に防犯カメラの設置やながら防犯などがあるが、特殊詐欺についても記載してほしいです。特殊詐欺の犯罪認知件数は変化がないが、被害額が大きくなっているのが現状です。昨年度で8千5百万円、本年度は昨年度を上回る可能性が高くなっています。また、ロマンス詐欺など新しい種類の犯罪もあるため、特殊詐欺については盛り込んでほしいです。

【部長】

重点施策の粒度が揃っており、わかりやすくなっていると思います。重点施策の全体像はこの内容で了承をいただけたと思います。

② 分野別素案について

【部長】

それでは、次の議題に移りたいと思います。分野別素案について事務局より説明をお願いします。

《資料②宇治市第6次総合計画第2期中期計画(素案)について》

【部会長】

資料の説明に対してご質問やご確認があればお願いします。なお、会議録を作成するため、発言の際はお名前のご発言をお願いします。

【委員】

分野4「消防・救急体制の充実」の指標 2「救命講習の実施人数」について、救命教習の実施は受講したいですが、受講場所がわかりません。私は宇治市の公式 LINE を登録していますが、若い方は宇治市の公式 LINE を追加していないことも多いため知る機会がないと思います。

【事務局】

救命講習の実施について、応募が少ないのが実態ですが、Instagram や市政だよりも情報発信しています。また、地域や職場など、個別応募でも対応しています。本年度から全中学校を回っており、来年度は小学校も回る予定です。

【委員】

広報に力を入れることも必要ですが、市の公式 LINE や Instagram などを知る機会がないため、最初のフォローが重要であると思います。私の場合、市役所に行った際、商工会議所がクーポン配布の条件として示しているのを見て登録しました。

【事務局】

LINE や Facebook、インスタグラムの最初のフォローについて、市政だよりも二次元コードを掲載するなど工夫はしていますが、お得感をつけるまでは踏み込めていないのが現状です。いただいた意見を踏まえつつ、様々なチャネルでの情報発信が必要と考えています。

【委員】

分野1「災害に強いまちづくりの推進」の主な取組3「防災情報の伝達機能強化」の「同報系防災行政無線等を整備」とあります。私の認識としては、行政無線は町中にスピーカーが巡らされていることを想定していますが、そのような認識であっていますでしょうか。その認識であっている場合、実際はなかなか響き合って聞こえにくいので、計画に記載する取組の代表例として記載するのは防災行政無線ではないように思います。

分野 3「犯罪や事故が起こりにくい地域づくり」の主な取組4「情報発信と啓発活動の推進」について、若者たちに対して、加害者側に回ってしまう可能性がある闇バイトなどに関わらないよう、啓発する旨もカバーしてもらえると幅広く取組が見れてよいと思います。

分野 4「消防・救急体制の充実」の成果指標2「救命講習の実施人数」について、以前配布された資料にあった「普通救命講習の実施」と今回の資料にある「救命講習の実施人数」の取組の違いを確認したいです。

【事務局】

同報系防災行政無線について、スピーカーを市内全域 40 か所に本年度と来年度で整備を予定しています。暴雨や雷などの際に窓を閉めていると聞こえにくいという課題はありますが、そういった際は広報車を走らせたり、メールや SNS を通じた情報に努めているという状況になっています。また、地震の際の緊急地震速報についても同報系防災行政無線で流す予定です。その他、Jアラートや避難勧告時についても同報系防災行政無線を活用していきたいと考えています。

【委員】

同報系行政無線が有効な場面もありますが、響き合って聞こえにくい時もあります。同報系防災行政無線のみではなく、SNS などでの情報発信なども併記した方が伝わりやすいと思います。

【事務局】

国が指定する「普通救命講習」は 3 時間の講習が基本ですが、心臓マッサージキットなどを使いながら実施する簡単な入門コースを含め、門戸を広げるということを目的に「救命講習」としています。

【事務局】

闇バイトについて、特殊詐欺で高齢者が被害に遭うケースが多いですが、委員ご指摘の通り、スマホの普及に伴って若い方々の SNS を利用した犯罪も増えています。そういった観点の記載も必要だと思いますので、記載内容については検討いたします。

【委員】

防火・防災啓発体制の充実・強化は非常に重要であると考えています。特に、高齢者や障害をお持ちの方などは守るべき存在であると思います。家族が遠方に住んでいたりして同居していないケースが多いため、地域で支えていくことが必要だと思います。しかし、現状では自治会の活動が十分に活用されておらず、脱退する方も増えています。

情報発信をしていただいていることには感謝していますが、行政だけに頼るのではなく、市民一人ひとりが自分事として防災や防火を考え、できることから取り組むことが重要であると思います。そのためにも、多くの市民に知ってもらうことが重要です。

私自身、会社で広報活動の難しさを感じていますが、「お得感」を出すことも一つの方法です。例えば、LINE でキャンペーンなどをして市民の興味を引き付け、今興味がない人にも登録してもらう、知ってもらうということが大事だと思います。特に防災は、身近な自分にできることがあるとわかれれば、市政にも関心を持ってもらえるのではないのでしょうか。市の安心・安全がより高まることを期待しています。

【事務局】

地域での防災活動は活発に取り組まれています。高齡化などの課題も認識しています。分野1「災害に強いまちづくりの推進」の目標(上から3行目)にもあるとおり、地域の自主防災活動への支援が重要であると考えています。

現在、地域の防災活動や担い手の人材活用、ボランティアの方々とのネットワークづくりなど、現状と課題に整理しています。特に、地域で自助・共助による防災活動を継続していただくための仕組みづくりや情報提供のあり方が課題であると認識しています。

【事務局】

土台の2「多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進」は、町内会離れが進む中でも、防災は市民全体で取り組むべき共通の課題です。そのため、NPO や学生、地域包括支援センターなど、さまざまな主体ができることを検討してくださっています。

防災はその活動の中心テーマの一つとなっており、11月8日には小倉の集会所で防災に関する取組が行われる予定と伺っています。例えば、「もし火事が発生したら」というボードゲームで子どもも参加しながら地域の皆さんが有事の際の行動をイメージしながら学ぶ活動も実施されるそうです。

【事務局】

土台の1「時代の潮流を捉えた市政運営」の「戦略的な広報」について、情報発信力の強化に取り組むと整理しています。総合計画ですので、大きな取組についてはこのような記載とさせていただき、ご意見でいただいたお得感やキャンペーンは個別事業の中で参考にさせていただきつつ取組を進めていきたいと思っています。

【委員】

消防団は地域の方と職員の方のつながりを構築するため、各地域で分かれています。町の青年団的な役割を果たしていたが、高齢化が進んでいるのが現状です。定員は満たされておらず、若い方などにいかに協力してもらえるかが課題と認識しています。

【副部会長】

防災情報の伝達は、FM うじを通じた情報発信が今後も重要であると考えています。しかし、本日の議論の中で「FM うじ」という言葉が出ていないため、今後は FM 宇治の積極的な活用をぜひお願いしたいです。また、特殊詐欺や闇バイトなどの被害をいかに防ぐかも重要な課題です。被害に遭わないための広報活動の強化が必要であると考えています。

【事務局】

分野1「災害に強いまちづくりの推進」の成果指標 3「災害時における民間事業者との協定締結」は 30 件の実績があります。民間企業との協定は、災害時の物資の納入、道路復旧関係の建設会社、物資輸送は引っ越し業者などと締結していますが、その中の一つに FM うじがあります。

【部会長】

分野 1「災害に強いまちづくりの推進」について、分野の目標には風水害と地震の両方の要素が入っていますが、成果指標や現状と課題には「耐震化」や「災害避難」に関する内容が含まれていないため、含めてもよいと思います。また、災害においては避難が重要であるため、タイムライン(防災行動計画)をつくろうとされているので、そういった指標も加えてもよいと思います。

分野 2「安全・安心な暮らしを守る治水対策の推進」について、家の中に水を溜めて流出を減らす雨水貯留槽や水を地面に流す透水性舗装なども成果指標にいれてもよいと思います。

分野 4「消防・救急体制の充実」について、地震の揺れを感知して電気を遮断する「感震ブレーカー」の普及も指標として加えてもよいと思います。国土強靱化計画にも感震ブレーカーの普及率に関する数値目標が示されており、地震後の火災を防ぐためにも有効な対策です。

分野 5「脱炭素社会へのチャレンジ」について、主な取組 4 の中に「ゼロ・エネルギー・ハウスの普及」が挙げられていますが、最近は耐震改修だけでなく、断熱改修も重要視されています。断熱改修は省エネルギーや脱炭素の観点からも効果的であるため、今後の取組の中に追加していただくのもよいのではないかと思います。

分野 6「上下水道の基盤強化」の指標「基幹管路の耐震適合率」については質問になります。基幹管路とありますが、基幹管路以外は耐震化しにくいものでしょうか。

土台 1「時代の潮流を捉えた市政運営」の「人にやさしいデジタル社会の推進」について、時代の変化として生成 AI という言葉はあった方がよいかと思います。

【事務局】

分野 6 の「基幹管路の耐震適合率」とは、管の素材や管を敷設する周囲の土壌が耐震化に対応できるのかという割合を指します。水道管は全体で約 700 km ありますので、まずは柱となる基幹管路について早急に耐震が適合しているのかというのをやっていこうというのを成果指標に設定しています。

【事務局】

土台 1「時代の潮流を捉えた市政運営」について、アンケートの入力作業、会議録の作成に生成 AI を活用しています。本年度は資料作成にも活用しています。ただし、他市より進んでいるわけではないため、今後しっかりと強化して取組を進めていきたいと考えています。計画への記載については、例として生成 AI を活用した取組強化について触れるかどうかは検討したいと思います。

【事務局】

「感震ブレーカー」については最近出てきたものであり、普及方法や、消防としての今後の方向性については未定なので、計画への記載ができるのかについても検討させていただきます。

【事務局】

断熱改修は各家庭のエネルギーの消費量の減少に非常に効果的な取組です。宇治市でもこれまでから電気自動車やゼロ・エネルギー・ハウスの普及にも補助事業を通じて取り組んでいるところです。今後は、断熱改修や省エネルギー住宅の導入によって光熱水費を下げられるという「お得感」も含めて、市民の皆さんにわかりやすく広報していければと思います。

【事務局】

雨水流出抑制として、貯留槽などの雨水対策には積極的に取り組んでいます。その他にも民間企業に対して、浸透舗装や浸透ますの設置や緑化など、雨水が循環できるような取組を開発時にお願いしています。現在は「お願い」レベルの対応ですが、今後も継続して働きかけを続けていきたいと考えています。

【事務局】

タイムラインは、現在取組を進めている段階であり、一定ここ数年で現在設定している目標の数字は達成する見込みのため、今後の4年間の目標設定についてはどのように記載できるか今後検討できればと思います。

【事務局】

市では、治水対策として、学校のグラウンドを雨水の一時貯留に活用するなど、さまざまな取組を行っており、成果指標としても設定しておりますので、引き続き継続して取り組んでいきたいと思っています。

【事務局】

特殊詐欺について、京都府の被害額は11億円を超えており、5年間で5倍の被害額になっています。市内でも5倍以上になっているため、京都府内全域での対応策を警察と連携して案内してもらっています。庁舎ロビーでも国際電話を止める手続きのご案内や消費生活の出前講座でも案内しています。これらの取組を計画の中身に盛り込むかたちで検討したいと思っています。

【部会長】

今回の審議内容を踏まえて、文言、表現、内容についてご意見をいただいたため検討をお願いします。事務局から連絡事項等がありましたらお願いします。

【事務局】

日程は事前に配布しています日程調整表で調整します。時期は11月中旬頃の開催を予定しています。

【貝副市長】

本日はありがとうございました。安全・安心に住み続けられるまちづくりやその土台となる取組について、さまざまな意見をいただきました。

10年前は「市政だより」しか情報発信の媒体がありませんでしたが、現在は情報発信の手段も増えてきており、戦略的な広報にも力を入れています。しかし、市民の皆さまからは「市の取組を知らなかった」という声も多く、ポイント制度についても十分に周知されていないと感じています。

また、市民協働でさまざまな取組を進めていきたいと考えていますが、町内会や自治会の衰退も現状の課題です。市職員が現場に出て、地域の方々とともに課題解決に取り組んでおりますが、地域によって温度差があるため、情報発信をしっかりと行い、市全体として取組を進めていきたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

---了---